

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	鴻島公共浮き橋災害復旧事業		コード	担当課	日生総合支所 建設課
			01-01-13-05	担当者	井上 哲夫
事業実施期間			電話	72-1259	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	港湾・漁港			
	施策	鴻島港の改良検討			

事業について	
目的	波浪により被災した港湾施設を早急に復旧し地域住民の安全性を確保したい。
対象 (誰のために)	浮き橋利用者
内容	浮き橋復旧 1基 連絡橋撤去・補修・設置 1基 浮函補修 1基

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
災害復旧事業工事件数	1 件		
浮き橋復旧			
連絡橋撤去・補修・設置			
浮函補修			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	7,384	国庫補助金等	5,523	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,632	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	14,016	市債	1,300	合計	0	市債	0
			一般財源等	7,193			一般財源等	0

必要人員	0.92	人		人
結果指標①	結果指標名 災害復旧事業件数			
	結果指標量	1		
	単位	件		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	14,015,616	円	円
	単当たりコスト①	14,015,616	円	円
結果指標②	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	—		
	事業費		円	円
	単当たりコスト②		円	円

事業の成果	竣工件数 ÷ 発生件数 × 100		
成果指標名	復旧率	式又は説明	年度内に完成した件数を計し復旧率を算定する
成果指標量	17年度		
	100		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	単年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コメント	評価区分
	16、17と2カ年にわたり連続して台風被害を受けたが、それぞれ単年度で竣工し早期復旧に努めた。しかし橋の構造に問題があることから、18年度より国の港交付金事業により橋を調査し、今後改良していくことで利用者の安全性を確保したい。	<A~E> A

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	妥当性	浮き橋の改良	18年度	利用者の安全確保

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

離島に暮らしている市民にとって船舶が着く橋は重要な公共施設であり早急に直す必要がある。

災害復旧事業は、被災から復旧までに要する資料作製等の事務量が膨大であり、この事業に係る人件費が半分を占めている状態である。今後コンサルタントに委託を行うなどし人件費を抑制したい。

被災年度に竣工し成果指標である復旧率について達成できている。